

## テーマ 4 : 森ハブ支援体制構築 (地域への伴走支援)

# 森ハブではコーディネーターの集積と地域とのマッチング、並びに連携した支援の実施により、林業のイノベーションエコシステムの形成を目指します

## 与件の整理

本項目で目指す姿

- 取組を総合的に支援するコーディネーターや専門的知識を持った専門人材が集積している
- コーディネーター・専門人材と森ハブ事務局により、エコシステムのフェーズに応じた支援が可能な体制が構築される
- 取組の中で、地域・異分野等、関連プレイヤーを巻き込んだエコシステムが地域に形成される
- 継続的にニーズの把握やマッチングが行えるような仕組みが構築される

## 取組方針

今年度事業の成功要因

実施方針

場の形成

- 異なる属性を持ったプレイヤーが集積している
- 自主的なワーキンググループの組成・活動が行われるための、交流、並びに共通の課題を設定できる「場」が設けられている

- プラットフォームの設置
- イベントやシンポジウムの開催
- コーディネーターの追加リストアップ

実証プロジェクトの展開

- 先進事例となる地域にて森ハブと連携した支援が行われている
- 森ハブからの支援により地域内の取組が推進される

- デジタル林業戦略拠点地域、並びにモデル事業実証地域への支援の実現
- エコシステムの形成フェーズに応じた適切な支援

事業化支援の展開

- 助成終了（※デジタル林業戦略拠点地域は補助期間の終了、モデル事業実証地域は本年）後の取組について方針が決まっており、具体的なTODOに落ちている

- 推進状況の確認、並びに地域内のエコシステム形成度合いを測るチェックリストによる地域の評価と適切な助言の実施

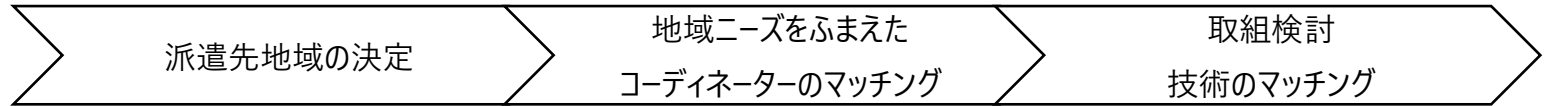
情報発信

- 森ハブの活動が可視化され、さらなるプレイヤーの集積につながっている

- 支援内容や成果の積極的な発信
- 森ハブの支援体制や事業を通じたスキームの確立

# 森ハブからの人材の派遣は、①プレイヤーの要望に応じた取組・支援、②森ハブとしての成功事例創出に向けた自主的な取組の2軸で現場へのアプローチを行います

## 森ハブ事務局の支援



<p><b>デジタル林業戦略拠点からのマッチング要請への対応</b></p> <p>※選出された3地域に関する支援を前提として記載</p>	<p>森ハブのサービス提供として、デジタル林業戦略拠点に選出された各地域・事業者から支援要請を募る</p>	<p>地域の意向をふまえ、必要な知識・スキル・経験を持ったコーディネーター・専門家のマッチングを支援する コーディネーターは適切な人材を事務局より地域へ提案することを前提とするが、地域からバイネームでの指名があった場合は、適切な人材かどうか等検討を行ったうえで、可能な限り調整する</p>	<p>地域内で検討がされている推進プランに沿って必要な支援・助言を行う</p>
<p><b>モデル事業実施地域</b></p>	<p>技術やコーディネーターに先行して地域の選出を行い、取組課題や受入状況の確認を行う</p>	<p>地域の選出を通じ、受入体制や地域の意向などをふまえ、エコシステム形成や技術導入にかかる計画策定などを支援するため、コーディネーター候補の人材像を検討し、マッチする人材を選出する</p>	<p>コーディネーターや地域と連携し、取組内容を詳細に協議したうえで、導入技術を検証し、導入に着手する</p>

# 評価指標を用いて地域の技術進捗やエコシステム形成を分析し、イベント等で情報発信していくことで、他地域への横展開を目指します

1. 初期仮説の検討

2. 取組内容・方針検討

3. 地域合意形成推進

4. 取りまとめ

## 支援地域の分析や横展開の検討

—地域分析・横展開に必要なステップ（令和3年度報告書より抜粋）—

—対応方針—



### ノウハウの体系化・類型化

- 取組みステップの整理
- 横展開できる技術・ネットワークの整理
- 普及に必要なとなるデータの取得（費用対効果、有益性など）



- デジタル林業戦略拠点、並びにモデル事業実施地域での取組、森ハブの支援内容を取りまとめ、イベント等で発信を行う
- 事業内にて作成した資料等は、地域への事前確認の上、できる限り公開するものとし、他地域の参考となる情報発信を心掛ける



### 普及展開に向けたアプローチ

- 先進PJの情報発信
- 準先進地域候補への声かけ・事例紹介



- 森ハブ参画地域を対象にアンケート調査等を行い、次年度以降のモデル事業実証地域の芽を探し、アプローチを行う
- 森ハブ参画プレイヤーの中で自主的に活動が行われるWGの動向をチェックし、興味関心が高い地域や技術の傾向を把握し、イベントやプラットフォーム運営の方針に反映させる



### 個別地域支援

- ニーズのヒアリング・課題の整理・解決策の提示
- マッチングの実施
- 既存技術の導入支援



- 上記、アンケート調査の結果等をふまえ、次年度以降のモデル事業実証地域の候補地に対し、ヒアリング等追加調査を行い、ニーズを把握する
- 次年度以降のモデル事業実証地域の選定やデジタル林業戦略拠点への応募に向け、情報提供等、地域のニーズに応じた事務局支援を実施する